

各位

遠鉄グループ平成 29 年度中間決算について

当上半期におけるわが国経済は、企業の人手不足と消費者マインドの変化による個人消費の持ち直しにより、緩やかな回復基調で推移しました。

当上半期における当社グループの連結業績につきましては、売上高は 8 期連続増収・過去最高の 858 億 9 百万円(前年同期比 1.4%増加)、経常利益は 22 億 5 千 6 百万円(前年同期比 59.6%増加)、中間純利益は 11 億 4 千 5 百万円(前年同期比 43.8%増加)となりました。

今後の見通しにつきましては、景気拡大が続く中、緊迫化する北朝鮮情勢、米国の政治動向など海外には不透明な材料も多く、また、静岡県西部地域においては、大河ドラマ「おんな城主直虎」の放映が終了することもあり、景気の下振れも懸念されます。

このような状況の中、当社グループでは、重点政策である「グループ経営の推進と総合力の強化」「人材の人財化、定着の強化」「新しい分野への挑戦」「各事業シェア拡大と自律的発展」を更に推進していくとともに、変化を恐れず新しい価値を提供し続けることで、さらなる業績の向上に努めてまいります。

なお、平成 29 年度の年間連結業績につきましては、売上高は 1,801 億円(前年比 1.0%増加)、経常利益は 40 億円(前年比 6.7%増加)、当期純利益は 21 億円(前年比 9.6%減少)を見込んでおります。

(別紙)

- ・遠鉄グループセグメント別(事業別)の概況
- ・業績推移(連結決算・セグメント別売上高)
- ・遠鉄グループ各社の主な事業内容

* * * * *

この件のお問合せは下記へお願いします。	
経営企画部長	野村 和徳
経営企画課長	榎本 貴文
TEL	053-454-2210
FAX	053-454-4130

1. 遠鉄グループセグメント別(事業別)の概況

(1) 運輸事業(鉄道事業・バス事業・タクシー事業など)

バス事業におきましては、乗合バスの車両更新を行うとともに、視認性の高いディスプレイを備えた運賃表示器を設置するなど、車載機器の更新を進めることでお客様の利便性向上に努めました。

タクシー事業におきましては、磐田配車センターを浜松配車センターに移転統合し、生産性の向上を図るとともに収益拡大に努めました。また、11月よりユニバーサルデザインの新タクシー(ジャパントクシー)を導入し、より高い顧客サービス向上に努めていきます。

以上の結果、運輸事業の売上高は、76億9千2百万円(前年同期比0.2%増加)となりました。

(2) レジャーサービス事業(旅行業、ホテル・旅館業など)

旅行業におきましては、バンビツアー「直虎ゆかりの地めぐり」の利用が順調に推移しました。

ホテル・旅館業におきましては、大河ドラマ「おんな城主直虎」効果もあり、ホテルウェルシーズン浜名湖、ホテル九重での団体客の利用が伸び好調に推移しました。

遊園地事業におきましては、7月に新アトラクション「ボンジョールノのくるくるクルーズ」「マスケラーナの4Dシアター」を新たに導入し、遊園地の魅力向上を図りました。

以上の結果、レジャーサービス事業の売上高は、53億3千6百万円(前年同期比4.7%増加)となりました。

(3) 商品販売事業(百貨店業、食品スーパー業、自動車販売業、石油製品販売業など)

百貨店業におきましては、本館7階の時計・宝石売り場の拡大及びリニューアルを実施し、新ブランドを導入するとともに、県内百貨店最大となる売り場面積を確保し、魅力向上を図りました。

食品スーパー業におきましては、消費者の節約志向や競合スーパーの出店、ドラッグストアやコンビニといった店舗との競争も厳しさが増しており、客単価の確保に苦戦しました。そのような中、地域ニーズへの対応強化を第一に、「新橋店」の移転新築、ならびに「マツモトキヨシ新橋店」をオープンし、売上拡大に努めました。

自動車販売業におきましては、ネットヨタ浜松において昨年発売された「タンク」や「C-HR」の新車販売や中古車販売が好調に推移しました。

以上の結果、商品販売事業の売上高は、599億7百万円(前年同期比0.8%減少)となりました。

(4) 不動産事業(不動産業、建設工事業)

不動産業におきましては、前年度に受注が好調だった規格型商品「ブライトS」や分譲土地などの引渡しが順調に推移したこと、また、本年1月に遠鉄鍛冶町ビルを取得し、賃貸収入が増加したことにより、売上を確保することができました。7月には、不動産営業所と住宅の営業拠点が一体となった、ワンストップ型店舗を浜松市中区広沢に開設し、新たな顧客獲得に努めました。

以上の結果、不動産事業の売上高は、61億2千2百万円(前年同期比20.5%増加)となりました。

(5) その他の事業(保険代理業、介護事業、自動車運転教習業、業務請負業、情報サービス業、食品検査事業など)

保険代理業におきましては、本年1月に名古屋営業所、5月に三島営業所を開設し、収益拡大を

図りました。

介護事業におきましては、既存施設の業績が順調に推移するとともに、4月に介護付有料老人ホーム「ラクラス見付レジデンス」をオープンし、事業拡大に努めました。

自動車運転教習業におきましては、本年3月に新設された準中型免許教習を、遠鉄自動車学校磐田校、浜松自動車学校にて実施をし、新たな入校生確保に努めました。

業務請負業におきましては、遠鉄アシストにおいてスクールバスをはじめとしたバスの運行請負増加に努めました。

以上の結果、その他の事業の売上高は、67億5千万円(前年同期比6.1%増加)となりました。

2. 業績推移

(1) 連結決算

(単位:百万円)

	中間			年間	
	H28 年度	H29 年度	H28 年度比	H29 年度	H28 年度比
営業収益	84,609	85,809	101.4%	180,100	101.0%
営業利益	1,213	1,978	163.0%	3,600	105.7%
経常利益	1,413	2,256	159.6%	4,000	106.7%
当期純利益	796	1,145	143.8%	2,100	90.4%

(注)金額は、百万円未満を切り捨て表示しております。

(2) セグメント別売上高

(単位:百万円)

	中間			年間	
	H28 年度	H29 年度	H28 年度比	H29 年度	H28 年度比
運輸事業	7,680	7,692	100.2%	15,700	100.3%
レジャーサービス事業	5,098	5,336	104.7%	10,500	103.2%
商品販売事業	60,385	59,907	99.2%	123,600	99.1%
不動産事業	5,080	6,122	120.5%	16,200	111.1%
その他の事業	6,364	6,750	106.1%	14,100	106.4%

(注)金額は、百万円未満を切り捨て表示しております。

3. 遠鉄グループ各社の主な事業内容(平成 29 年 9 月 30 日現在)

事業区分	事業内容	主要な会社
運輸事業	鉄道事業	遠州鉄道(株)
	一般乗合旅客自動車運送事業	遠州鉄道(株)
	一般貸切旅客自動車運送事業	遠州鉄道(株)
	自動車整備、関連サービス業	遠州鉄道(株)
	一般乗用旅客自動車運送事業	遠鉄タクシー(株)
レジャーサービス事業	旅行業	遠州鉄道(株)、(株)遠鉄トラベル
	ホテル・旅館業、遊園地事業	遠州鉄道(株)、遠鉄観光開発(株)
商品販売事業	百貨店業	(株)遠鉄百貨店、(株)遠鉄百貨店友の会
	食品スーパー業	(株)遠鉄ストア
	自動車販売業	ネットトヨタ浜松(株)、(株)トヨタレンタリース浜松
	石油製品販売業	遠鉄石油(株)
	サービスエリア物品販売業	(株)遠鉄百貨店
不動産事業	不動産業	遠州鉄道(株)
	建設工事業	遠鉄建設(株)
その他の事業	保険代理業	遠州鉄道(株)
	介護事業	遠州鉄道(株)
	健康スポーツ業	遠州鉄道(株)
	自動車運転教習業	(株)遠鉄自動車学校、(株)浜松自動車学校
	業務請負業、ビル管理業	遠鉄アシスト(株)
	情報サービス業	遠鉄システムサービス(株)
	食品検査事業	遠鉄アシスト(株)

グループ会社数 15 社(遠州鉄道含む)